

ありがとうの中藤

学校便り第20号
令和6年2月8日
福井市中藤小学校



令和6年を迎えて早1ヶ月が過ぎました。今年度（5年度）も学校日は残すところあと28日。卒業生においては20日となってしまいました。まさに『光陰矢のごとし』ですが、それぞれの学年において、「学年のまとめ」をしっかりと行い、次の新しい学年へ向けて、希望をもって進級できるよう準備をして欲しいと願います。

一方で、石川県の能登半島地震の被災地においては、地震発生後約1ヶ月が経っていますが、ニュース等の映像を見る限り、何の変化も見られず、一向に復興が進んでいない現実を目の当たりにします。その残酷な姿に胸が痛むと同時に、私たちのこの「日々の当たり前」がいかに「尊いもの」であるかを痛感します。そして、今一度亡くなられた方、被災された方たちに、心からご冥福と一日も早く光が見える日が訪れることを祈願します。

そのような中、この地震に対して6年生の子どもたちが自ら声を上げ、募金活動を行いました。お昼の放送の時間を活用して、6年生の代表が全校児童にその想いや願いを伝えました。たった3日間の活動でしたが、募金額は合計で¥166,288円が集まり、先日学年主任が日本赤十字社へ寄付をしてきました。この金額の大きさに驚いたのは勿論ですが、「ありがとうの中藤」の一員として、子どもたちと先生、そして保護者の方たちの気持ちがひとつとなったことが嬉しく、この中藤っ子のみみんなの心や願いが石川で苦しんでいる人たちに伝わり、少しでも復興への一助になって欲しいと強く思いました。

私は昨年度から青少年赤十字福井県指導者協議会（JRC）の会長をしておりますが、この2年間多くの貴重な経験をさせていただきました。その中で心に残った学びがふたつあります。まず、JRCの祖であるアンリ・デュナンが唱えた「気づき、考え、行動する」人づくりこそが、いつの時代でも重要であり、私たちの学校教育の使命であることを学びました。そして、今年6月4年ぶりに日本赤十字東京本社で実施された、JRC全国指導者協議会（各県会長会）にて話された、熊本県と沖縄県の会長様の「災害時こそ人の言葉や助けがいかに尊く、生きる力となる」と「人は人で育ち、子どもたちこそ未来へつながる希望の光である」というお言葉です。目頭が熱くなる程感動しながら、会長様たちの生の体験談をお聞きしていましたが、同時に「よし！中藤小でこの学びに基づいた『人の笑顔』を大切に学校教育を実現しよう！！」と決意を新たにしました。

中藤っ子のみなさん。先日見守り隊のある方から「最近『挨拶』の声が大きくなってきた」と嬉しいお言葉をいただきました。また、中藤島地区にお住まいの方から、「中藤っ子の行動がとても嬉しかったので褒めて欲しい」という教師冥利に尽きる連絡も入るようになりました。ぜひ引き続き、「ありがとう」の言葉を大切にしながら、自分自身と仲間の幸せを目指す心豊かな人になれるよう、そして「ありがとうの中藤」が実現できるよう努力を続けていましょう。よろしく願います。

中藤小学校長 佐藤 勉 (Big Ben)

＜ふれあい委員会『ふれあいの木』が完成＞



ふれあい委員会が主催して育ててきた「ふれあいの木」が完成しました。日々の生活の中で、気付いた「小さな親切」を付箋に（花びらとして）書いて「ふれあいの木」に貼り紹介し合うことで、親切な人が学校全体に広がっていくことを願いました。「掃除の時に下がっていなかった机を下げてくれた〇〇さん。『ありがとう』」や「授業で分からなかったことを丁寧に教えてくれた〇〇くん、教えてくれて『ありがとう』」など、たくさんの『ありがとう』の花（付箋）で見事満開となりました。みなさん素晴らしい活動でした。拍手！！

<なかよしタイム:6年生を送る会に向けて>



今月2月21日(水)に行われる「6年生を送る会」に向けて「なかよしタイム」を活用して準備が進んでいます。1年生から5年生は、これまでお世話になった6年生に対する感謝の想いを表現するために、それぞれのグループが考えたオリジナルのゲームやプレゼントづくりに取り組んでいます。6年生は後輩たちへ『贈る言葉』となる劇づくりに励んでいます。子どもたちが「ありがとう」を伝え合うこの会が待ち遠しいです。

<1月30日(火)「自分って何色??」色の授業>



1月30日(火)の3時間目、6年生を対象にした「色の授業」が行われました。講師として、本校のPTA役員でもあり、認定NPO法人色彩生涯教育協会認定講師の江川良枝様をお招きして、色や第一印象が大切なこと等について教わりました。子どもたちはペアになって「言葉のギフト」として自分や相手を表す形容詞を伝え合い、自分の見方と相手の見方に違いがあることを実感していました。また「ベースカラー理論」のお話では、自然界に存在する色は2つのグループに分けられるということ学びました。その後「自分はイエロー派?ブルー派??」とクリアファイルを使いながら楽しそうに考え合っていました。この色の授業を通して「一人ひとり違う色でいいんだよ」というメッセージを受け取った子が多かったようです。感想からも「とても楽しかった」が多く、お互いにとって貴重な実り多い1日となりました。江川様、本当に素敵な時間をありがとうございました!

<2月6日(火)わくわく交流デーが行われました>



2月6日(火)午前10時から、本校1年生が企画・運営した令和5年度「わくわく交流デー」が実施されました。来年度入学予定の園児110名が来校し、1年生の子供たちと一緒にダンスをしたり、国語の漢字や算数の足し算の勉強を一緒にしたり、学校についてのクイズをしたりしてお互いの親睦を深めました。この日は少し気温が低く、風邪を引かないか心配でしたが、全体を率いる1年生の姿はまさに「元気100倍!」で、「お兄さん、お姉さん」となって園児一人ひとりに寄り添い、親身に接している姿にはとても感動しました。やり終えた1年生の子どもたちの表情からは、満足感や達成感がみなぎっていました。園児たちの感想からも「とても楽しかった」が多く、不安感が安心感へと変わった様子が見られました。本当に良かったです!